

名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積 延面積)	死傷者
神田共立講堂 東京都千代田区神田 一ツ橋1～3	集会場 (1)口	昭和31年2月23日	耐火 ㄨ	㊤・半・部・小	死者
		出火20時48分ころ 覚知20時52分 覚知別 報知電話 鎮火21時41分	建 1,483.0m ² 延 3,733.1m ²	3,178.1m ² (85%)	0名 傷者 11名 (11)

I 火災概要							
① 概要	神田共立講堂の火災は、白木屋に次いで耐火建物における大きな火災であり、消防隊の必死の活躍にもかかわらず耐火造 ㄨ 階建のうち1階から3階までの講堂を焼失してしまった火災である。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等
	4	165.0		倉庫			屋内階段 4F 2箇所 3F 2箇所 2F 6箇所 1F 8箇所 B1F 4箇所 ㊤ (映写室のみ)
	3	577.5	577.5	講堂			㊤
	2	1,117.6	1,117.6	講堂	6		㊤
	①	1,483.0	1,483.0	講堂			㊤
	B1	390.0		倉庫・事務所	5		㊤
	合計	3,733.1	3,178.1		11	0	
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, ㊤・非居室, ㊤・不在) 1階ステージ左側の緞帳裏から出火したもので、付近には幕類, 電線, その他の可燃物が多量にあり, 出火時掃除婦6名が2階観客席を掃除中であった。				④ 出 火 原 因	終演後翌日の準備のため各種の幕を移動し最後に緞帳を引いて作業を終了したが作業員が舞台に火鉢が置いてあるのに気付かず, 袖幕を巻き込んだとき裾部分が火鉢の火に触れて燃え上がったものと思われる。	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) ステージ左側の 緞帳裏</div> <div style="text-align: center;">(出火部位の拡大) 幕類・電線等</div> <div style="text-align: center;">(客席への拡大) ステージ内壁、天井 の内装材</div> <div style="text-align: center;">(他階への延焼) 3階までの吹抜け部分</div> </div>			
	<p>ステージの緞帳、幕類等に燃え移った火災は、ステージ内壁・天井部分の合板壁、角材スノコ張り等に燃え広がると共に左右の客席に拡大し、内部に熱が蓄積されて対流現象を呈し猛烈な火流となって吹き抜け部を上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 ○ 緞帳等の幕類は防火処理されておらず、また建物内部は可燃材料で内装されていたため火災の拡大が早かった。 ○ 舞台部と客席部との間に、防火区画等の措置がなされていなかった。 ○ 煙の伝播経路 客席吹き抜け部を猛煙が上昇し、全館に充満した。 			
II 火災建物概要				
① 建築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和13年 3月22日 (改修) 昭和28年 8月 日			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他(吹抜) <input checked="" type="checkbox"/> 特記なし		○ 査察時下記事項等について指導されているにもかかわらず何ら改善されていなかった。 1. 幕類に防火処理をすること。 2. 消防訓練を行うこと。 3. 非常口は開演中施錠しないこと。 ○ 舞台部での火鉢の使用については数回にわたり注意したが改善されなかった。	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	隣接の女子学園との間に防火壁があるだけで、講堂内には防火区画等はなかった。		写真室のスプリンクラーはバルブコックが閉めてあって使用できなかった。	

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (講堂掃除婦)</p> <p>○発見の動機 (2階観客席を掃除中、異様な物音に気付)</p> <p>○発見後の行動 (地下室へ行き男子従業員に知らせる)</p> <hr/> <p>発見者は講堂掃除婦であり、1階の掃除を終え、2階に上って客席を掃除中、異様な物音にステージを見ると、ステージ左側後方のスクリーン付近から炎があがっており、あわてて地下の男子従業員に知らせに行った。</p>					
② 通報状況	<p>通報 した <input checked="" type="checkbox"/> (男子従業員) 発見後約(3)分</p> <p>しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>地下にいた男子従業員が、掃除婦の“火事だ”と騒いで地下へ降りてくるのを知って、近くの電話で通報した。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 従業員が直ちに屋内消火栓からホースを延長し、消火作業を行ったが、延焼拡大が早く、煙や炎に眩惑され効果は全くなかった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 従業員が直ちに屋内消火栓からホースを延長し、消火作業を行ったが、延焼拡大が早く、煙や炎に眩惑され効果は全くなかった。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 従業員が直ちに屋内消火栓からホースを延長し、消火作業を行ったが、延焼拡大が早く、煙や炎に眩惑され効果は全くなかった。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○消防隊が火災を覚知し現場到着した時には、2・3階の窓等から猛烈に火炎及び黒煙が噴出しており、建物の内部は一面に炎がのびていた。</p> <p>○建物への出入口は正面1箇所を除き全て施錠されていたため、進入口は1箇所のみで、かつ火勢は猛烈をきわめており、消防活動は著しく制約を受けて行動は思うにまかせなかった。</p> <p>○講堂の構造から局部的延焼防止を阻止することができなかったため、隣接している女子学園との防火壁に延焼阻止線を置き鎮火せしめた。</p>					

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項
⑤ 避 難 状 況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (6 人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救 助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input checked="" type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	○掃除婦 6 名は、火災発見後男子従業員に知らせ階段により避難した。 ○地下にいた男子従業員は、1 階にあがり初期消火を行ったが効果がなく、消防隊が到着したのでそのまま出入口から避難した。	
⑥ 死 者 の 状 況	健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名] 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	なし	
IV 問題点・教訓等		
1. 舞台部における木炭火鉢の使用は防火的な見知から使用させないこととなっていたが、実際には使われており、火気の管理がずさんであった。 2. 建物への出入口は正面の1箇所を除き全て施錠されていたため消防活動が阻害された。 3. 各階の天井及び壁体の大部分が可燃性であった。(木樫に軟質繊維材その他の可燃材を用いて音響装置を施してあった。)		

配置図



